

平成29年7月6日(木)の18時30分から、和田公民館において公共施設再配置和田地域モデル事業の第1回目の話し合いを行いました。

和田地域モデル事業は、6月9日(金)に開催した「公共施設再配置モデル事業に関する地域説明会」において、和田の里づくり推進協議会の『和田の拠点づくり「プロジェクトW」』と市が話し合うことで進めていくと決まりましたので、今回は、プロジェクトWのメンバー14名、市施設マネジメント課職員3名、和田支所・公民館職員3名の計20名での話し合いとなりました。

【当日の次第】

- ◆自己紹介
- ◆部会長あいさつ
- ◆施設マネジメント課による「公共施設再配置モデル事業」についての説明
- ◆意見交換

施設マネジメント課による「公共施設再配置モデル事業」についての説明では、「モデル事業とは何なのか」や「モデル事業の意義」、「検討項目」や「大まかな流れ」について説明を行い、市とプロジェクトWとの情報共有を図りました。

【モデル事業とは】

公共施設の再配置を市民の皆さんと行政が一緒になって取り組むに当たり、「公共施設の再配置とは何なのか」「どのように進めていくのか」について、実際の取り組みを通して、市民の皆さんに理解していただくために実施するものです。

【モデル事業の意義 ～他地域のモデルとして～】

モデル事業での取り組みについては、他の地域で公共施設再配置を実施する際の指標となるべく、検討結果が導き出されるまでの過程をしっかりと説明ができるように進めていくことが重要です。

具体的には、和田地域と行政が一緒になって、考えられる様々な可能性(選択肢)を列挙し、それぞれの案について、メリット・デメリットなどを整理・比較・検証し、まとめていく必要があります。

その後の意見交換では、「実際に施設を使う当事者の意見も多く取り入れたい。協議項目によっては、協議参加者を増やせないか。」との意見に対し、「次回のテーマを明確にし、それぞれのテーマに応じて、適切な意見集約の仕方を考えていけばいいのではないか。」との意見がでる等、疑問に思う点について意見交換を行うことで、認識の共有化を図りました。

